



# 主体的に学習に取り組む態度の評価について

## 1

### 技術分野の目標における評価のあり方

学習評価の観点「主体的に学習に取り組む態度」は、技術分野の目標 (3)「学びに向かう力、人間性等」のうち「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている状況」について次の三つの学習評価の側面から行う。すなわち、

- ①粘り強い取り組みを行おうとしている側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面
- ③技術を工夫し創造しようとする側面

の三つである。評価を行うにあたって、「感性や思いやり」などの観点別学習状況の評価や評定には示しきれない状況を除くこととする (図1参照)。

## 2

### 三つの側面から見る評価

「①粘り強い取り組みを行おうとしている側面」と

は、生涯にわたり学習する基盤を培うため、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、粘り強い取り組みを行おうとしている側面のことである。

評価の方法としては、行動を観察することや、ワークシート、レポート等の記載から、進んで学習対象の技術と関わろうとする姿、主体的に技術の仕組みを理解したり、技術による問題解決の工夫を読み取ろうとしたりする姿を見取る等が考えられる。例えば、数時間分の学習を振り返って感想を記入する欄をワークシートに設け、その記述内容から「今まで興味はなかったが…」「もっと知りたい」といった意欲を読み取る方法がある。

「②自らの学習を調整しようとする側面」とは、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている側面のことである。

評価の方法として、行動観察やワークシート、レポート等の記載から、自らの学習を振り返り、技術による問題の解決がよりよいものとなるよう改善・修正しようとしている姿を見取る等が考えられる。

### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

○ これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

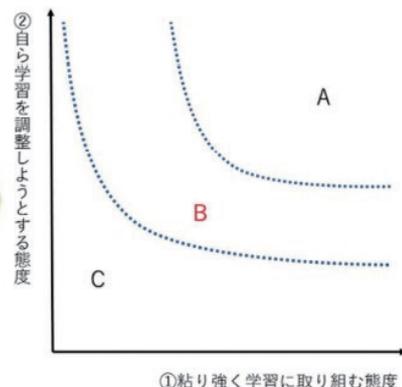


図1 「①粘り強い取り組みを行おうとしている側面」「②自らの学習を調整しようとする側面」のイメージ

例えば、生徒が記載済みの設計・計画のワークシートと製作・制作・育成中のものを比較して、目的のために機能や構造、環境調節や情報処理の手順等を改善・修正している姿を観察したり、作業の振り返りをノートやレポートに記述させ、その内容から自己調整などをはかってきたか読み取ったりする方法がある。

「③技術を工夫し創造しようとする側面」は、技術の優れた点や問題点を見極めたり、技術によって問題を解決しようとしたりしようとする側面のことである（図2参照）。

評価の方法として、題材の終末のワークシートやレポート等への記載から、技術の見方・考え方を働かせ、技術による問題の解決を行い、持続可能な社会を実現しようとする姿を読み取る等が考えられる。例えば、ワークシートに内容の技術と今後どのように向き合うかといった意欲の傾向を文章などで表現したり提言させたりして、その記述内容から「技術の優れた点や問題点を見極めようとしている」「技術を積極的に用いて生活や社会の問題を解決している」といった態度を読み取る方法がある。

### 3

### まとめ

技術の学習を通して涵養された主体的に学習に取り組む態度が適切に評価され、生徒に伝えられることで、次の題材、次の学年、そして義務教育終了後の社会において、技術の見方・考え方を働かせ、技術を工夫し創造しようとする生徒が一人でも多く育成されることを期待している。

#### 参考文献

文部科学省「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（2019）、  
[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415602\\_1\\_1\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415602_1_1_1.pdf)

神奈川県相模原市立中学校で技術・家庭科技術分野の教諭、相模原市教育委員会指導主事。2022年4月より国立教育政策研究所教育課程調査官。



**渡邊 茂一**（わたなべ しげかず）

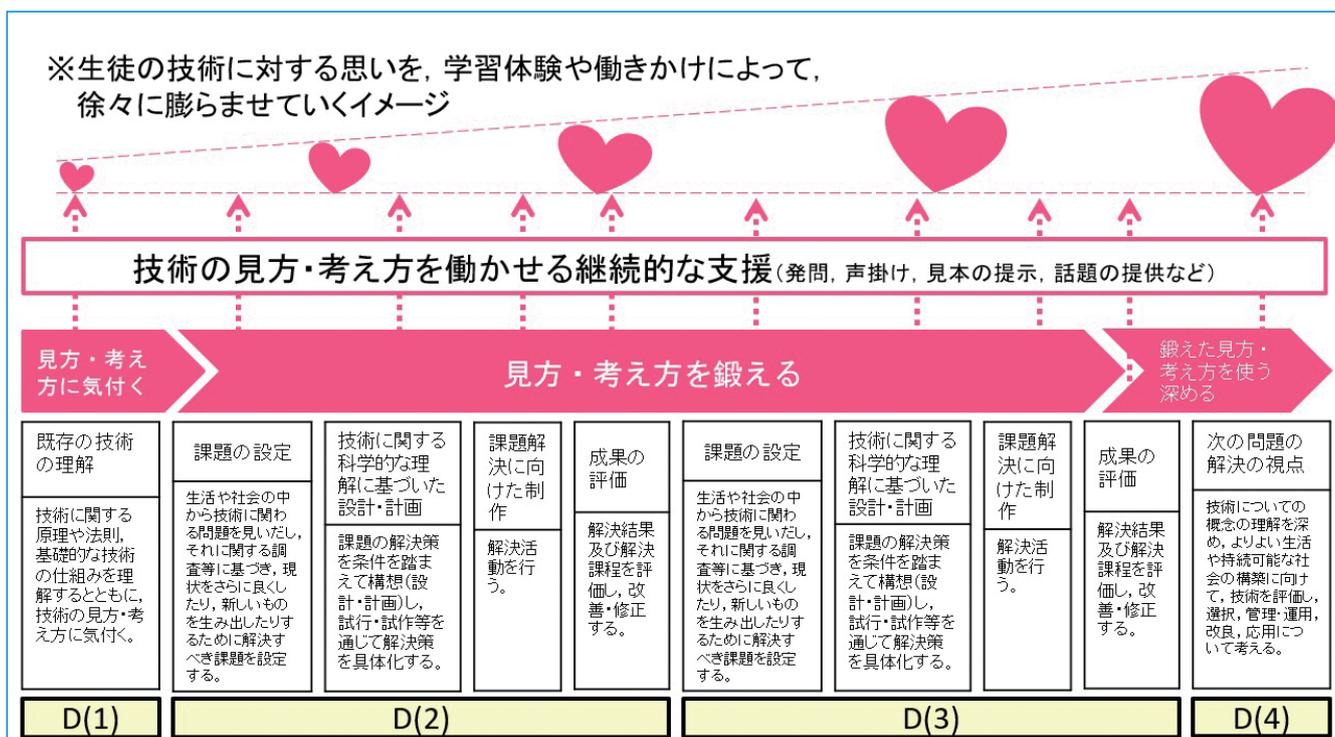


図2 情報の技術の題材を例にした「③技術を工夫し創造しようとする側面」のイメージ